



東海北陸自動車道全線開通の効果について

東海北陸自動車道全線開通による効果の一部をご紹介します。

1 能越自動車道の交通量の増加（福岡IC～高岡IC）

開通直後の2週間（7/6～7/20）の一日平均利用台数は、平日6,117台、土日7,116台で、昨年同月同期（平日5,903台、土日5,406台）比で、平日は3.6%の増加に過ぎなかったが、土日は31.6%の増加となった。特に、7月20日（日）については、8,671台と大幅な利用増となった。

2 道の駅「万葉の里 高岡」の利用者数の増加

7月20日（日）の利用者数（特産物売り場レジカウンター数）が約3割の増加（全通前の日曜との比較）

3 高速バスの乗車人数の増加

高速バス3社の乗車人数は、全線開通後、前月比で1バス当たり約6割の増加となっている。

4 瑞龍寺の拝観者数の増加

前年同月同期比（7/5～7/20）約6割の増

5 観光ガイドボランティア活動実績の増加

前年同月同期比（7/5～7/20）約8割の増

担当：都市経営課 政策調整担当

TEL20-1228（内221）